

2023年度 問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ 担当教員一覧

教員名	テーマ	シラバス	卒業論文 卒業制作
阿部力也	刑法を解釈するうえで重要とされる論点を探求し「犯罪と法」のあり方を考えよう (刑法解釈の実践的理解という意味)!	7	—
石川幹人	マイノリティの生きにくさ問題を考える	9	—
今村哲也	知的財産に関する法的問題の研究	11	88
牛尾奈緒美	業界や企業の研究を通じて、社会的問題を解決する方法を見つけ出す	13	—
江下雅之	メディアの〈いま・ここ〉:情報環境の転換を考察する	15	88
小田光康	戦略コミュニケーションとパブリック・ジャーナリズムに関する文理融合型の実践 研究	17	88
川島高峰	ミレニアル・Z・α世代の日本国家論・日本人論	19	89
清原聖子	現代アメリカ研究—多角的な視点から現代アメリカ政治と社会について考える—	21	89
熊田聖	意見の対立している分野を取り上げ、調査し、自分の考えを明確にし、それを 他人に説明できるようになりましょう。	23	—
高馬京子	越境するファッション・スタディーズ:メディアにおいて構築/伝達されるファッション とジェンダー表象をめぐる諸問題を考える	25	89
後藤晶	行動経済学・実験経済学:人間の行動と社会制度を考える	27	89
小林秀行	災害と社会	29	90
坂本祐太	「ことば」に関する研究:身近な不思議を発見・分析・解決する	31	—
施利平	恋愛・結婚・家族の社会学	33	90
島田剛	コーヒー・チョコレートから見る国際経済とSDGsのあり方 ~グローバルの実践と しての神保町コーヒー・プロジェクト	35	—
清水晶紀	現代社会の諸課題を、行政法的視点から分析してみよう	37	90
鈴木健人	米国の覇権が揺らぎを見せる中で進んでいる国際秩序の変動を理解し、日本 の進むべき方向を考える。 また日本の強みであるソフトパワーについて考え、将来に生かす視点を探る。	39	90
鈴木雅博	学校の社会学	41	90
須田努	異文化コミュニケーション史・社会文化史の研究	43	90
関口裕昭	春学期:メルヒェン研究/秋学期:映画と文学の比較研究	45	91
竹崎一真	スポーツ・身体・ジェンダーに関する社会学/カルチュラル・スタディーズ	47	91

※ ページ数は「問題分析・解決ゼミナール案内」のものであります。

2023年度 問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ 担当教員一覧

教員名	テーマ	シラバス	卒業論文 卒業制作
竹中克久	組織社会学—現代社会を読み解く	49	91
塚原康博	現代社会と情報コミュニケーション—問題分析編—	51	—
ドウティモシー	第二言語習得	53	—
内藤まりこ	言語表現を読み解く技法:理論と実践	55	91
中里裕美	社会ネットワーク(つながり)の研究	57	91
南後由和	都市・建築・デザインの社会学とメディア論	59	91
根橋玲子	異文化間コミュニケーションと多文化共生	61	92
波照間永子	芸術コミュニケーション研究—社会におけるアートの役割・問題を検討する—	63	92
日置貴之	芸術作品を研究・批評する(基礎)	65	92
堀口悦子	ジェンダー・バイアスを考える	67	92
宮川渉	音楽を中心としたアート実践研究	69	92
宮田泰	紛争解決システム論	71	—
宮本真也	現代社会と社会理論	73	93
山内勇	イノベーションの経済学	75	93
山口生史	組織コミュニケーション研究:質的研究	77	—
山崎浩二	ソフトウェア開発とアルゴリズム	79	—
横田貴之	中東・イスラーム研究—現代中東とイスラームから異文化と世界を学ぶ	81	93
脇本竜太郎	社会心理学:数量的アプローチ	83	93
和田悟	アジアに目を向け情報社会と情報技術について考える	85	—

※ページ数は「問題分析・解決ゼミナール案内」のものであります。